

| | |
|----------------------------------|-----------------------------|
| 第四次地域福祉計画 地域福祉活動計画 進行管理シート | 基本目標 2 福祉を担う心豊かな人づくり |
| | 施策の方向性 (1) 担い手の育成 |
| | 取組み 1) 福祉教育の充実 |

| | | | |
|--------|--|-------------------------------|---|
| 施策タイトル | ①福祉教育の推進 | | |
| 計画内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの時から人に対する思いやりを育むため、宜野湾市社会福祉協議会と連携し学校における福祉教育を推進します。 ・認知症になっても安心して暮らせる地域を目指し、認知症の人や家族を温かく見守り、支援する認知症サポーター等の養成を幅広い団体へ実施します。 ・障がい者が安心して暮らせる地域を目指し、多様な障がいに対する理解を深めるため、市民や子ども達への周知啓発を図ります。 | | |
| 取組状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度は認知症施策推進事業として「認知症サポーター養成講座」を市民、企業、中学生、学童、市職員を対象に実施。(介護長寿課) ・学校へ福祉教育の手引き配布や、福祉講演会及び車いす・アイマスク体験、手話講座等を取り組んだ(指導課) ・障害者基本法に定める障害者週間(12月3日から12月9日)の一環としてパネル展を役所ロビーにて開催。障がいのある人が社会・経済・文化その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高める為に「ふれあい」の場を設けることで市民に広く障がい福祉の理解と関心を高める為の理解・啓発に取り組んだ。(障がい福祉課) | | |
| 実績値 | ①認知症サポーター養成講座 26 回(561人)(介護長寿課) | ②市内の15の障がいサービス提供事業所参加(障がい福祉課) | ③ |
| 課題等 | <ul style="list-style-type: none"> ・講座受講者の地域活動とのマッチングや受講者同市の横の連携強化が必要(介護長寿課) ・福祉教育の取組体制に、学校間差がある。(指導課) ・開催場所やプッシュ型の取組の検討が必要。(障がい福祉課) | 今後の方向性 | <ul style="list-style-type: none"> ・認知症の普及啓発のために、認知症サポーター養成講座を推進し、受講後の活動を見越した事業にするため、サポーター関連事業の制度設計を見直しを図る(介護長寿課) ・学校における認知症や精神疾患等の福祉教育を推進していく。(指導課) ・今後も継続して取り組む。(障がい福祉課) |
| 課名 | 指導課、介護長寿課、障がい福祉課 | 事業評価(A~E) | B |
| 施策タイトル | ②地域での実践から学ぶ福祉意識づくり | | |
| 計画内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域活動への市民の参画を促進し、支え合いの活動の輪を広げるとともに、活動を通じて福祉意識を高めます。 | | |
| 取組状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・ふてんま地区では、地域の弁当屋が提供可能な弁当をラインで繋がっている、ふてんまの各自治会に連絡し、生活が困窮している高齢者等に、無料でお弁当を提供する活動「ゆいべいフォワード」が展開されている。(介護長寿課) ・障がい理解・啓発を目的に民生委員・児童委員向けの研修会にて障がい者を取り巻く状況や各種福祉制度、取組み等を紹介することにより福祉意識の向上に取り組んだ。(障がい福祉課) | | |
| 実績値 | ①20名(障がい福祉課) | ② | ③ |
| 課題等 | <ul style="list-style-type: none"> ・ふてんま地区の「ゆいべいフォワード」のような市民参画の支え合い活動の場を他地区でも広げる。(介護長寿課) ・各自治会毎の取組を実施したいが人材確保に課題がある。(障がい福祉課) | 今後の方向性 | <ul style="list-style-type: none"> ・生活支援体制整備事業において、今後の具体的な取組として予定している「お宝講座」をモデル地区で実施する等し、地域活動への関心を高め、市民の参画、支え合い活動の輪を広げる。(介護長寿課) ・今後も継続して取り組む。(福祉総務課) |
| 課名 | 障がい福祉課、介護長寿課 | 事業評価(A~E) | B |

| | | | |
|----------------------------------|-----------------------------|--|--|
| 第四次地域福祉計画 地域福祉活動計画 進行管理シート | 基本目標 2 福祉を担う心豊かな人づくり | | |
| | 施策の方向性 (1) 担い手の育成 | | |
| | 取組み 2) 地域を担う人材・資源の掘り起こし・育成 | | |

| | | | |
|--------|---|--------------------------------------|---|
| 施策タイトル | ①地域の担い手（キーパーソン）の発掘・育成 | | |
| 計画内容 | ・地域の担い手（キーパーソン）となる人材の発掘及びその育成を図るとともに、社会福祉協議会と連携し地域活動へつないでいきます。 | | |
| 取組状況 | ICTを活用した地域課題解決策を学ぶ講座を実施し、地域の課題をICTの技術を使って解決に取り組むことができる人材の育成に取り組んだ。 | | |
| 実績値 | ①講座やシンポジウムを含め、16回のイベントを開催した。 | ②16回のイベントに延べ273名のが参加した。 | ③介護、防犯、健康、地域活動の分野をテーマにICTを活用した解決策の提案が作成された。 |
| 課題等 | 市民がICTを活用して解決に取り組むためには、行政等によるオープンデータの提供が重要となるため、今後、市もオープンデータの公開に積極的に取り組む必要がある。 | 今後の方向性 | 同事業を今後も継続し、地域活動にICTを活用できる人材の育成に取り組みたい。 |
| 課名 | 市民協働課 | 事業評価 (A~E) | B |
| 施策タイトル | ②企業に対する働きかけの実施 | | |
| 計画内容 | 企業による社会貢献活動、SDGsの取り組みの実践といった好事例について発信を行い、企業の地域福祉活動等への参画を促進します。 ・市に寄せられた企業の社会貢献活動と、市や地域団体の福祉活動とがマッチングできるよう、社会福祉協議会と連携し取り組みます。 | | |
| 取組状況 | ・自治会加入促進モデル事業において、伊佐区で親子ハローウィンパレードを開催した。パレードでは子供110番の家や津波避難ビルをコースに取り入れることで防犯、防災を学べるイベントとなった。イベントの実施に当たっては、企業へ協力の呼びかけを行い、趣旨に賛同した区内の企業から資金提供や配布用のお菓子の提供等を受けた。(市民協働課) ・企業から寄付金等をいただいている。福祉総務課にてとりまとめ、各課の事業へ配分している。(福祉総務課) | | |
| 実績値 | ①6企業がパレードに参加し、14企業から協賛金を受けた。(市民協働課) | ②参加者49名に子供110番の家や津波避難ビルを紹介した。(市民協働課) | ③ |
| 課題等 | ・企業に周知を行い、地域活動に参加してもらうよう呼びかけを強化する必要がある。(市民協働課) ・企業からの申し出があった場合に対応している。(福祉総務課) | 今後の方向性 | 取り組みを継続し、企業に地域福祉活動等への参加を促進したい。(市民協働課) |
| 課名 | 福祉総務課、市民協働課 | 事業評価 (A~E) | B |

| | |
|----------------------------------|---------------------------------|
| 第四次地域福祉計画 地域福祉活動計画 進行管理シート | 基本目標 2 福祉を担う心豊かな人づくり |
| | 施策の方向性 (1) 担い手の育成 |
| | 取組み 3) 民生委員・児童委員や健康サポート人材の養成・支援 |

| | | | |
|--------|--|----------------------------|--|
| 施策タイトル | ①民生委員・児童委員の確保・充実 | | |
| 計画内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・市民に最も身近な相談相手となる民生委員・児童委員については、担い手不足により確保が難しい状況もみられるため、新たな人材の確保に向けて民生委員・児童委員の役割や意義、活動内容等の周知を図っていくものとします。 ・市民に民生委員・児童委員のやりがいや魅力が伝わるよう、社会福祉協議会と連携し市報や市HP、SNS、イベント等を活用した情報発信や、窓口へのPRグッズの設置を検討していきます。 | | |
| 取組状況 | 令和4年12月には3年に1度の一斉改選があり、令和4年度末時点で115名委嘱している(定数141名) | | |
| 実績値 | ①市外から転入者へのチラシ配布(900部) | ②市報への広報 | ③委嘱率78.72% |
| 課題等 | 担い手不足により、民生委員活動の負担がみられるため、人材の確保の取組みが早急である。 | 今後の方向性 | 民生委員のやりがいや活動の魅力がわかるような内容を市報の他、SNSやその他媒体へ積極的に掲載していく。 |
| 課名 | 福祉総務課 | 事業評価(A~E) | B |
| 施策タイトル | ②各種養成講座の実施 | | |
| 計画内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・各種健康福祉サポート人材の活動を充実させるため、養成講座やスキルアップ、リーダーを養成し、地域での活動を支援します。 ・母子保健推進員(所管課:健康増進課) ・食生活改善推進員(〃) <ul style="list-style-type: none"> ・健康づくり推進員(〃) ・ファミリー・サポート・センターまかせて会員、どっちも会員(こども企画課) ・介護支援ボランティア(介護長寿課) ・認知症キャラバン・メイト(〃) 等 | | |
| 取組状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・一般介護予防事業における「はつらつ元気サポーター養成講座」は新型コロナウイルスの影響もあり、令和2年度以降実施なし。 ・令和4年度は認知症サポーター養成講座を受講した方を対象に地域で認知症の方や家族のやりたいこと支援して欲しいことをサポートするボランティアを養成する「ステップアップ講座」を実施。 ・認知症キャラバン・メイト養成講座については県が主催。(介護長寿課) ・食生活改善推進員養成講座と健康づくり推進員養成講座は隔年で実施している。令和4年度は、健康づくり推進員養成講座を実施したが、コロナ禍でもあり受講者が少なかった。食生活改善推進員養成講座については次年度開催。 ・母子保健推進員定例会にて勉強会等を実施。外部研修会への参加促進。(健康増進課) | | |
| 実績値 | ①ステップアップ講座 1回(14人) 介護長寿課 | ②健康づくり推進員養成講座1回(3名)(健康増進課) | ③母子保健推進員定例会にて勉強会等(7回)(健康増進課) |
| 課題等 | <ul style="list-style-type: none"> ・講座受講者の地域活動とのマッチングや受講者同市の横の連携強化が必要(介護長寿課) ・健康づくり推進員の高齢化による、活動可能な推進員が限定されている ・推進員活動の周知不足 ・対象者が高齢者に偏っている(健康増進課) | 今後の方向性 | <ul style="list-style-type: none"> ・総合事業全体における位置づけ、活用方法、活動の場を明確にする。(介護長寿課) ・推進員活動周知を強化することにより新規委員を増やす。 ・子供の頃から、運動の楽しさや必要性を発信等継続的に取り組み、自主活動(ウォーキングdayなど)の拡充 ・健康づくり推進員養成講座を継続して研修会の企画及び外部研修会への参加を促す(健康増進課) |
| 課名 | こども政策課、介護長寿課、健康増進課 | 事業評価(A~E) | B |

| | |
|----------------------------------|-----------------------------|
| 第四次地域福祉計画 地域福祉活動計画 進行管理シート | 基本目標 2 福祉を担う心豊かな人づくり |
| | 施策の方向性 (2) ボランティアの育成・活用 |
| | 取組み 1) ボランティア活動の促進 |

| | | | |
|--------|---|--|--|
| 施策タイトル | ①ボランティアサロンの周知・活用促進 | | |
| 計画内容 | ・社会福祉協議会と連携し、ボランティア情報の発信及び紹介を行う拠点機能の充実及び周知について情報交換に努めます。 | | |
| 取組状況 | ・市社協ボランティアセンター運営会議に参画し、ボランティア団体間の交流の場について協力した。 | | |
| 実績値 | ①ボランティア運営委員会への参加 5回 | ②社協発行ボランティアだよりを庁内へ掲載 (年4回) | ③ |
| 課題等 | 継続して実施する。 | 今後の方向性 | 継続して実施する。 |
| 課名 | 福祉総務課(市民協働課) | 事業評価 (A~E) | B |
| 施策タイトル | ②学生や企業、退職者等、多様な人材のボランティアへの参画支援 | | |
| 計画内容 | ・各種ボランティア活動や地域課題の解決等について、大学生や専門学校生等の参画を促進していきます。 ・福祉課題の解決に向け、市内のNPO法人や市民活動団体との情報の共有・連携・育成に努めます。 ・市内企業や商工会等に対し、地域福祉の各種取り組みについての周知を図り、地域活動への参加を促進していきます。 ・退職者を対象に、できること・得意なことでの地域活動への参加を促進する取り組みを検討していきます。 | | |
| 取組状況 | ・市内在住の65歳以上の方で介護認定を受けていない方を対象に、仲間との交流や学びを通じ認知機能低下予防を図りながら、知識や経験を活かした生き方について考える契機となり、また専門家による講話を中心に幅広く学べる、はごろも長寿大学を実施。(令和4年9月から令和5年1月) ・認知症サポーター養成講座を市民、企業、学童、学生、市職員に対し実施。(介護長寿課) ・琉球大学と連携し、地域企業(自治体)お題解決プログラムを開催した。学生や社会人学生と宜野湾市をテーマに地域課題や資源を学び、課題解決に関する提言を作成する取り組みを行った。(市民協働課) ・沖縄国際大学ボランティア支援室の協力を得て、宜野湾市ひとり親家庭子どもの生活・学習支援事業を実施。宜野湾市内の母子世帯、父子世帯の中学生を対象に学習サポートなどを用いた居場所作りを行っている。(児童家庭課) ・株式会社ティ・エム・オ普天間から近隣小学校・幼稚園への清掃用具・遊具の寄贈 ・宜野湾市商工会より商工会の日を記念して、市内の保育園にイベント等で使用できるテントの寄贈(産業政策課) | | |
| 実績値 | ①はごろも長寿大学 1クール12回 受講者21人(介護長寿課) | ②認知症サポーター養成講座 26回開催 561人受講(介護長寿課) | ③5つのチーム(29名が参加)により解決策の発表を行った。(市民協働課) |
| | ④株式会社ティ・エム・オ普天間 R4 普天間幼稚園、普天間第二幼稚園 (産業政策課) | ⑤商工会の日 R4 あっぶる保育園、ちゃいるどはうすエンジェル(産業政策課) | |
| 課題等 | ・はごろも長寿大学を卒業した方と地域づくりの視点から交流を図りたいが、その機会を作れてない。(介護長寿課) ・提案を具体化するため、チームが継続して取り組む仕組みづくりが必要である。(市民協働課) ・送迎がないため沖縄国際大学・新城児童センターから離れた校区の児童が利用しにくい。(児童家庭課) ・各企業、団体が自主的に行っているものであり、産業政策課と連携している事業についての把握は出来ているが、それ以外の取組等の把握は難しい。(産業政策課) | 今後の方向性 | ・卒業した方と地域の協働やマッチングを進めることで、総合事業や保険外サービス等の新しいサービス創出に繋がるよう検討を進める。(介護長寿課) ・今後も大学等と連携して取り組みを継続していきたい。(市民協働課) ・沖縄国際大学との連携を密にしながら事業を継続する。(児童家庭課) ・既存の連携事業については引き続き実施していただき、それ以外の取組の把握及び参加促進について関係団体と検証していく。(産業政策課) |
| 課名 | 福祉総務課、市民協働課、産業政策課、児童家庭課、介護長寿課 | 事業評価 (A~E) | B |

| | | | |
|----------------------------------|---|---------------|------------|
| 施策タイトル | ③災害ボランティアの体制構築 | | |
| 計画内容 | ・災害が発生した場合に災害ボランティアセンターが設置できるよう、社会福祉協議会と連携し、必要な体制構築を図ります。 | | |
| 取組状況 | | | |
| 実績値 | ② | ③ | |
| 課題等 | | 今後の方向性 | 今後も検討を要する。 |
| 課名 | 福祉総務課 | 事業評価 (A~E) | E (実施無し) |
| 施策タイトル | ④社会福祉法人による地域における公益的な取組の推進 | | |
| 計画内容 | ・多様な福祉課題・生活課題へ対応していけるよう、社会福祉法人等による地域貢献を推進します。 | | |
| 取組状況 | | | |
| 実績値 | ① | ② | ③ |
| 課題等 | | 今後の方向性 | 今後も検討を要する。 |
| 課名 | 福祉総務課 | 事業評価 (A~E) | E (実施無し) |
| 第四次地域福祉計画 地域福祉活動計画 進行管理シート | 基本目標2 福祉を担う心豊かな人づくり | | |
| | 施策の方向性(2) ボランティアの育成・活用 | | |
| | 取組み 2) ボランティアコーディネート機能の充実 | | |
| 施策タイトル | ①ボランティア関連団体等との連携強化 | | |
| 計画内容 | ・社会福祉協議会にボランティアコーディネーターの配置を継続し、関連課とともに情報交換や活性化に向けた方策等の検討・調整を行います。 | | |
| 取組状況 | 社協へのボランティアコーディネーターの配置を継続し、ボランティアの育成を支援した。 | | |
| 実績値 | ① | ② | ③ |
| 課題等 | | 今後の方向性 | 継続して行う。 |
| 課名 | 福祉総務課(市民協働課、生涯学習課) | 事業評価 (A~E) | B |